

「松戸プロジェクト・コンソーシアム」が「アジア健康長寿イノベーション賞 2021 新型コロナ対応特別賞」を受賞しました！



松戸プロジェクト・コンソーシアム（千葉大学、松戸市、住民ボランティア、株式会社 Biz Brew、一般社団法人日本元気シニア総研はれの日サロン、日本老年学的評価研究機構）の「アフターコロナ時代の新たな都市型介護予防モデル：コレクティブ・インパクトによる、オンライン「通いの場」導入の試み」が「アジア健康長寿イノベーション賞 2021 新型コロナ対応特別賞」を受賞しました。

「アジア健康長寿イノベーション賞」は、日本政府によるアジア健康構想の一環として、東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）および日本国際交流センター（JCIE）が2020年に創設した表彰事業で、健康長寿の達成、高齢者ケアの向上に資する取り組みをアジア各国から募集し表彰するものです。本年は特に、コロナ禍が高齢者に与えている影響の大きさに鑑み、新型コロナ対応特別賞が設けられました。（日本国際交流センター（JCIE）公式サイト：
<http://www.jcie.or.jp/japan/2021/07/30/post-13745/>）

受賞や当プロジェクトの詳細は、下記の関連ホームページをご参照ください。

—関連ホームページ—

- ・ Asia Health and Wellbeing Initiative (AHWIN) 公式サイト
(<https://www.ahwin.org/>)
- ・ 日本国際交流センター (JCIE) 公式サイト (<http://www.jcie.or.jp/japan/>)